



# 新潟県佐渡地域振興局 地域整備部

## 事業概要



### 佐渡地域振興局地域整備部

#### ◆相川庁舎

〒952-1555 新潟県佐渡市相川二町目浜町20番地1  
TEL 0259-74-3153 FAX 0259-74-2048

#### ◆港湾空港庁舎

〒952-0014 新潟県佐渡市両津湊198番地  
(佐渡島開発総合センター2階)  
TEL (代)0259-27-3311 FAX 0259-27-3321



新潟県



## ◆ 道路

国道1路線(350号)、県道22路線の延長約427kmを管理しています。改良率、舗装率とも県平均とほぼ同じ水準となっていますが、補完する並行路線が少なく、1つの路線が「生活道路」、「観光道路」、「緊急輸送道路」等、全ての役割を担う「唯一無二」の路線が多いのが特徴です。また、急峻な地形が多く海岸線も長いので、「落石」、「越波」、「塩害」等の対策が課題となっています。

(令和6年4月1日現在)

区分	路線数	実延長 (m)	改良率 (%)	舗装率 (%)
一般国道	1	48,139.8	94.2	100.0
主要地方道	5	274,349.0	76.7	100.0
一般県道	17	104,427.2	61.9	99.9
計	23	426,916.0	75.0	100.0

※改良率：道路幅員が5.5m以上に整備されている割合



主要地方道 佐渡一周線

## ◆ 河川

二級河川85水系145河川の延長約375kmを管理しています。改修率は46.1%で、県全体の54.4%を下回っています。国仲平野を流れる国府川水系に、市街地や農地などの資産が集中しているため、降雨により河川が氾濫すると浸水被害の規模が大きくなるのが課題となっています。



二級河川 国府川、大野川、新保川

(令和6年3月31日現在)

水系数	河川数	延長 (km)	要改修延長 (km)	改修済延長 (km)	改修率 (%)
85	145	374.6	210.9	97.3	46.1

## ◆ 海岸

海岸保全区域53海岸の延長約102km(新潟県全体の40%)を管理しており、防護率は72.2%で県全体の71.4%を上回っています。本島の海岸は、真野湾の中央部と国府川の河口部に砂丘が形成されているほかは、砂礫海岸や断崖が多く、日本海特有の風浪による越波や侵食が激しいのが特徴です。海岸災害も頻繁に発生していることから、これらへの対策が求められています。



窪田海岸

(令和6年3月31日現在 国土交通省水管理・国土保全局所管)

海岸数	要保全延長 (km)	有効施設延長 (km)	防護率 (%)
53	102.2	73.8	72.2

## ◆ 砂防

佐渡では、山地や沿岸の急峻な斜面近くに集落が点在しているのが特徴で、土砂災害警戒区域の「急傾斜地」や「土石流」に指定された箇所が全島に多数存在しています。また、小佐渡南西部には軟弱な地盤が広く分布しているため、「地すべり」が集中している状況です。

佐渡市における土砂災害警戒区域の指定率(令和6年12月31日現在)

区分	土砂災害警戒区域 指定予定箇所数	指定済土砂災害 警戒区域箇所数	指定率 (%)
急傾斜	849	849	100
土石流	436	436	100
地すべり	110	110	100
計	1,395	1,395	100

新潟県全体での土砂災害警戒区域の指定箇所数は14,193箇所に上りますが、佐渡市は1,395箇所と県内の市町村で3番目に多く、県全体の約10%を占めています。



水津(1)地区法枠(水津保育園)

佐渡市における土砂災害警戒区域の整備率(令和6年3月31日現在)

土石流			地すべり			急傾斜地		
対象 区域数 (箇所)	整備済 区域数 (箇所)	整備率 (%)	対象 区域数 (箇所)	整備済 区域数 (箇所)	整備率 (%)	対象 区域数 (箇所)	整備済 区域数 (箇所)	整備率 (%)
236	65	27.5	44	17	38.6	247	100	40.5

注)土砂災害警戒区域のうち、「人家5戸以上の区域」及び「人家4戸以下で整備中または整備済みの区域」を対象区域としている。

## ◆ 港湾

佐渡には本土と結ぶ海上交通の要として「両津港」、「小木港」、「赤泊港」があり、この他、避難港として二見港があります。両津港は、旅客数、貨物量とも、島外からの物流の約9割を占め、小木港には周遊観光船、たらい舟など観光施設があります。また、近年は大型クルーズ船の寄港など、港湾施設の新たな活用が注目されています。



小木港への寄港：ハンセアティック・スピリット(令和6年6月)

## ◆ 漁港

佐渡沖は対馬暖流が日本海を北上するため、寒流と暖流が混じり合い良好な魚場が多数存在します。両津漁港を拠点とし島内34漁港(うち7漁港を新潟県が管理)から、佐渡寒ブリ・マグロ、南蛮エビなどのブランド魚をはじめ、イカ、貝類、海藻類の水揚げが盛んに行われています。佐渡の産業において水産業の占める割合は大きく、漁港漁場施設の整備は極めて重要です。

## ◆ 空港

県営である佐渡空港は、定期航空路として新潟ー佐渡間を約25分で結んでいます。(平成26年から運休中)また、滑走路長890mを有し、主に小型機やヘリコプターの離発着に利用されています。



～”ミライの佐渡”のために地域に寄り添いながら行動しよう！～

## 環境

### 「美しい島 佐渡」の防災・減災対策と環境保全

- 激甚化・頻発化する災害に対する防災・減災対策の推進
- インフラ施設の計画的・効率的な老朽化対策の実施
- トキの野生復帰に向けた川づくり
- 金銀山遺跡や自然景観に配慮したインフラ整備
- 美化運動の推進（ゴミ拾い、草刈り、植栽など）



### ペーパーレス化の推進

- 会議資料や供覧資料の電子媒体での確認・周知
- 請求書などの提出物の電子化



## 社会

### 地域社会への貢献

- 地域行事への参加（鉦山祭り、宵の舞など）
- 地産地消の推進（島内産飲食物の積極的な消費）



### 建設産業の振興と情報発信

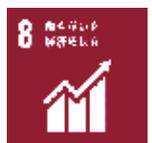
- 出前講座や見学会等による建設産業のPR
- 担い手確保に向けた建設産業の魅力発信
- SNS等によるタイムリーな情報発信



## 経済

### DXの推進

- ICT活用工事の推進
- Web会議の積極的な活用



### 働きやすい職場環境の構築

- 早出遅出勤務、在宅勤務の推奨
- 研修機会の確保
- ノー残業デーの徹底
- 健康増進、安全対策の推進（検診、安全運転等）



Ver.202201



土木部マスコットキャラクター【こめゆきくん】  
新潟のお米が大好きな、雪男のキャラクター。  
耳は「雪下にんじん」でできているらしい。  
災害時は、みんなの役にたてるようがんばっています！





トキ

道路課では、新潟県が管理する国道350号や主要地方道佐渡一周線等の道路拡幅、急なカーブの続く区間の改良、道幅の狭い通学路に歩道を整備するなど、安全で利便性の高い道路整備を進めています。

### ○ 都市機能の集中する国仲平野へのアクセス時間の短縮

佐渡は鉄道がなく、マイカー依存度が高いという特徴があり、交通の集中する朝夕には市街地で渋滞が発生するなど、市街地への自動車での移動に課題があります。

そのため、拠点病院や市役所等の都市機能が集中している国仲平野へのアクセス時間を短縮させるための道路整備を進めています。



国道350号の混雑状況  
(国仲バイパス開通前)



国仲バイパスの開通

### ○ 災害に強く観光の活性化につながる佐渡一周線の整備

佐渡一周線は、海岸線に点在する集落を結ぶ重要な生活道路であるとともに、美しい自然が広がる風光明媚な海岸道路です。

しかし急峻な地形のため道幅が狭い箇所も多く、大型車の通行を規制している区間や、落石・越波などの危険性が高い箇所もあることから、大型観光バスなども安全で安心して通行できるよう整備を進めています。



佐渡一周線の越波状況  
(岩首工区開通前)



岩首工区の開通

### ○ 通学路の安全対策

全国で自動車と歩行者が絡む事故が毎年多く発生しています。

県では、通学路の安全対策に学校関係者、警察等と合同で取り組んでおり、通学路の歩道整備や、バイパス整備による通過交通と歩行者との分離を進めています。



佐渡一周線(原黒地内)  
(原黒バイパス開通前)



原黒バイパスの開通

トキ：保護と増殖の取組による野生復帰が進み、令和6年現在、野生化で約500羽が生息しており、野生復帰に向けた取組が順調に進んでいます。



人面岩

維持管理課では国道350号や佐渡一周線など計23路線を管理しています。「道路パトロール」、「補修」や「除雪」など、安全かつ円滑な交通を確保するため、日々、道路の健全性を保つための業務を行っています。  
また、安全性や信頼性が高く、利用者に優しい道路とするため、「交通安全対策」、「老朽化対策」、「防災減災対策」などの事業にも取り組んでいます。

### ○ 日々の道路維持管理

道路パトロール等でみつけた道路の損傷を補修し、冬期の通勤・通学等に支障をきたさないよう除雪作業や凍結防止剤の散布を行うことで安全で円滑な交通を確保しています。



パトロールで穴ぼこの補修



除雪作業の実施

### ○ 交通安全対策

歩道整備により、歩行者が安心して通行できる道路空間を確保し、交通安全施設を設置することで、安心して通行できる道路空間を確保します。



歩道の整備



カーブ区間での交通安全確保

### ○ 老朽化対策

佐渡地域整備部が管理する道路施設は、1950年代から90年代に全体の約77%が建設され、施設の老朽化が進んでいます。

道路施設を効率的に維持管理するため、施設を定期的に点検し、的確な補修につなげています。



橋梁の定期点検



トンネル補修(はく落防止ネット設置)

### ○ 防災減災対策

地震や土砂災害などに備えて、橋梁の耐震化や危険斜面对策、消波ブロック設置による越波対策などを行い、災害に強い道路づくりを行っています。



越波防止(消波ブロック設置)



斜面崩壊防止(のり枠の設置)

人面岩：真野湾の「越の長浜」にあるジオサイトのひとつ。人の横顔に見えることから人面岩と呼ばれています。周辺では安山岩が熱水によって変質し、暗緑色となっているところを見ることができます。

河川・砂防課では、たびたび発生している梅雨期や台風期の集中豪雨による洪水被害、冬季の風浪等による海岸災害から地域を守るため、二級河川・海岸保全区域の整備・管理をしています。



### ○ 河川の整備（国府川水系河川改修）

国府川水系は、島内で最も流域面積の大きい二級河川で、平成10年や29年の水害では、溢水や破堤等により大きな被害が発生しました。

現在は、70年に1度起こる規模の洪水に対して、安全に流下できるように、各支川で改修を進めています。



平成29年水害時の長谷川



令和6年現在の整備状況

### ○ 海岸の整備

戸地地区海岸では、平成24年の爆弾低気圧により多大な浸水被害が発生したことから、高潮対策事業を行いました。

国定公園・名勝指定地に位置するため、景観にも配慮し整備を進めました。



戸地地区海岸の被災状況



令和6年現在の整備状況

### ○ 施設の維持管理

定期的に巡視・点検を行い、河底に溜まった土砂の掘削や木の伐採、堤防の除草、護岸等の補修工事、海岸に漂着したゴミや危険物の処理などを行っています。



河床堆積土の掘削

### ○ ダムの維持管理

ダムは洪水を防ぐだけでなく、下流の農業用水の確保や上水道用水の確保にも役立っています。

佐渡地域整備部では、大野川ダムをはじめ、3つのダムの維持管理を行っています。



大野川ダム

のろま人形：佐渡に伝わる喜劇性のたかい人形芝居で、国の重要無形民俗文化財に指定されています。佐渡には全国的に見ても歴史的価値の高い人形首もあることが知られています。

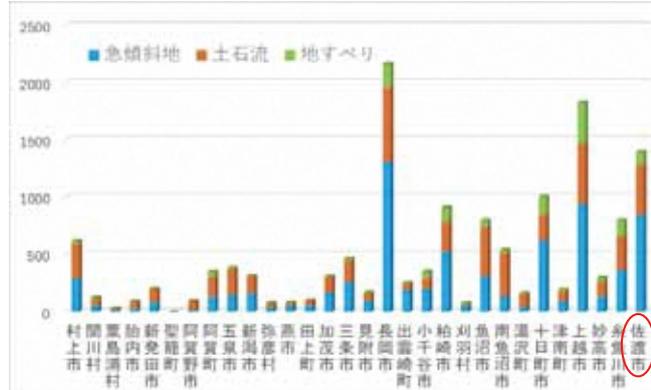
河川・砂防課では、土砂災害から島民の生命・財産を守るため、砂防堰堤などハード整備を進めるとともに、危険箇所の周知や警戒避難体制の確立等のためのソフト対策にも取り組んでいます。



金ほり大工



平成10年8月新潟豪雨 東立島川  
(佐渡市東立島川)



土砂災害警戒区域の指定箇所数  
(令和6年12月31日現在)

### ○ 施設の整備【砂防・地すべり・急傾斜地崩壊（がけ崩れ）対策】

渓流や山地の荒廃が進み土石流のおそれがある箇所や、地すべり、がけ崩れのおそれがある箇所の対策および災害後の復旧を進めています。



土石流の流出を防ぐ  
(北川・佐渡市月布施)



地すべり災害の復旧  
(中佐為地区・佐渡市小倉)



がけ崩れを未然に防ぐ  
(姫津地区・佐渡市姫津)

### ○ 危険箇所の調査・周知【土砂災害警戒区域等の指定・公表】

土砂災害防止法に基づき、危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転促進等のソフト対策を推進するため、基礎調査の実施、土砂災害警戒区域等の指定・公表を行っています。

また、基礎調査結果に基づき、佐渡市で土砂災害ハザードマップを作成・公表しています。



佐渡市地域防災マップ

金ほり大工：金ほり大工は鉱山で金・銀を採掘していた職人ですが、鉱脈を見つけるなどの技術と経験を持った貴重な人材(決して罪人ではない)で、石見や甲斐の国などの鉱山から佐渡に流れてきた人が多くいました。



能

港湾課では、4つの港湾施設の整備と維持管理を実施しています。  
佐渡には、本土との間を海上交通で結ぶため、重要な役割を担う、両津港、  
小木港、赤泊港があるほか、避難港として二見港があります。

## ○ 佐渡島における4つの港湾

【両津港（重要港湾）】



- ・昭和44年 カーフェリー就航
- ・昭和52年 ジェットfoil就航
- ・平成27年 あいぼーと佐渡オープン  
佐渡の玄関口として、物流・人流の  
拠点になっています。

【小木港 北・南地区(重要港湾)】



- ・クルーズ船の寄港増加に対応するため、  
平成28年度から令和2年度にかけて、北  
埠頭2号岸壁を改良し、受入環境を整備  
しました。主に海外からのクルーズ船の寄  
港があります。

【小木港 羽茂地区(重要港湾)】



- ・平成8年 小木港に合併(旧:羽茂港)  
佐渡南西部におけるセメントなどを取り  
扱う物流港としての役割を担っています。

【赤泊港（地方港湾）】



- ・背後地産出石材を積出するなど地域産業  
を支える役割を担っています。  
港内では日本海海上大相撲で知られる  
赤泊港祭りも開催されます。

【二見港（避難港）】



- ・平成4年 相川火力発電所の運転開始  
佐渡北部地域の建設資材等を受入れて  
います。

## ○ 港湾の整備

【両津港南埠頭再編整備】



埠頭用地造成 A=0.6ha

岸壁の更新  
(ジェットfoil岸壁2バース)

岸壁の更新や災害時における荷さばき用地確保のため、  
南埠頭を整備しています。

## ○ 港湾海岸の整備

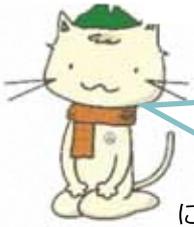
【両津港海岸の侵食対策】



潜堤整備 L=1290m

港湾海岸の侵食を防止するため、潜堤を整備しています。

能:江戸時代、初代佐渡奉行となった大久保長安の影響で佐渡に能が広まったと言われています。現在でも6月くらいから島内のあちこちの神社で新能が行われ、全国の能舞台の1/3は佐渡にあるとされています。



にゃんじー

漁港課では、佐渡島内にある34漁港のうち7港について、整備と維持管理を行っています。日本海特有の冬期風浪により施設に被害が生じた場合でも、速やかに復旧工事を実施し、漁港の機能維持に努めています。

## ○ 新潟県が管理する漁港（7漁港）



①両津漁港(夷地区)



①両津漁港(加茂湖地区)



②小木漁港(小木地区)



②小木漁港(琴浦地区)



③水津漁港(水津地区)



③水津漁港(片野尾地区)



④姫津漁港(姫津地区)



④姫津漁港(達者地区)



⑤稲鯨漁港



⑥白瀬漁港



⑦鷲崎漁港

## ○ 漁港の整備

漁港の整備が概ね完了したことから、今後は耐震・耐津波対策のための機能強化、施設の長寿命化を図るための機能保全、既存施設の有効活用を目的とした機能増進・港整備交付金等の工事を実施します。

### 【小木漁港（琴浦地区）港整備交付金事業】



水揚げ作業の利便性向上を図るため  
既存岸壁を切り下げ

## ○ 漁場の整備

佐渡島周辺の沿岸・沖合は、岩礁域が多く良好な漁場を形成しており、沿岸域では採介藻・刺網漁業や定置網漁業、沖合ではいか釣り漁業やえび籠漁業がおこなわれています。

「水産資源の回復・管理」を推進し、漁業生産の増大を図るため、水産環境整備事業により「魚礁造成」や「藻場造成」を進めています。



魚礁ブロック据付



藻場の繁殖



鬼太鼓

業務・空港用地課では、県内唯一の県営空港である佐渡空港を管理しています。昭和34年の開港からこれまで人命に関わる事故もなく、365日休まず運用しています。平成26年以降、定期便運航は休止となっていますが、民間機および公用機の利用、ドクターヘリなど緊急救命搬送に利用されています。

## ○ 佐渡空港の概要

所在地 佐渡市秋津地内  
 面積 137,937㎡  
 空港種類 第3種H級飛行場  
 着陸帯 長さ1,010m 幅60m  
 滑走路 長さ 890m 幅25m  
 誘導路 長さ 153m 幅10.5m  
 エプロン 40m×54m  
 (小型機4機又は双発機  
 (ATR42-600相当機)1機)  
 運用時間 8時45分～17時15分  
 これまでの主な定期便就航機  
 アイランダー機 (9人乗)  
 ツインオッター機 (19人乗)



佐渡空港シンボルマーク



※写真はATR72-600(令和4年11月5日新潟空港にて撮影)

上空からみる佐渡空港

## ○ 佐渡空港の運用管理

空港の安全な運用を確保するため、施設の点検管理と維持補修は日々欠かせません。空港場外においても、航空機の運航に支障となる樹木等の障害物に関する監視業務に努めています。

また、万が一の航空機事故発生に備え、空港業務専用の化学消防車を所有しており、消火救難訓練の緊急時対応訓練を行っているほか、テロや不法侵入者等への対応など、有事における対応能力の向上を図っています。



航空灯火施設の点検



化学消防車による消火訓練



不法侵入者対応訓練

## ○ 佐渡空港拡張整備計画

佐渡島の活性化と地域振興を図るため、大都市との直行便としてジェット機の離着陸が可能となる、滑走路2,000mを有する佐渡新空港計画に取り組んでいます。

離島における災害時の支援活動の対応拠点としても、空港の機能拡充を図る必要があります。

鬼太鼓(おんでこ)：島内100を超える団体で行われており、地域によって異なる舞方や太鼓のたたき方が伝統として引き継がれています。毎年春から秋にかけて島内各地で行われています。

計画調整担当では、「インフラ整備を通じた地域振興」、「建設産業のPR」、「トキの野生復帰を支援する川づくり」など、島民の皆様とコミュニケーションを図りながら新たな取組を進めています。



柴田収蔵

## ○ 建設産業のPR・担い手確保

地域の子供や中高生、島民の皆様インフラ整備の必要性や建設産業の役割、魅力、重要性などを知ってもらうため、民間団体と連携しながら、産業としてのPRや各種の出前講座等を開催しています。

【出前講座】



ダムの見学

【土木出張PR】



測量体験

【工事現場見学会】



【インターンシップの受入】



生きもの調査



ドローン操作体験

## ○ 天王川（てんのうがわ）自然再生事業

トキの野生復帰を水辺づくりの面から支援する取組として、天王川の自然再生事業を実施しています。「トキの餌場」、「子供たちの野外学習の場」など、多様な価値をもつ水辺となるよう地域と連携して取り組んでいます。



自然再生事業地  
【新穂潟上】



話し合いの様子



地域ボランティアとの協働  
【トキの水辺づくり協議会】

柴田収蔵：佐渡宿根木に生まれ、蘭学・医学・天文地理学を学んだ後、幕府に奉職し世界地図を作成しました。宿根木の重要伝統的建造物群保存地区内には収蔵の生家も残されています。

		課名	主な担当業務	TEL (0259)	
地域整備部	相川庁舎	総務課	局内連絡調整、庁舎・宿舍管理	74-3127	
		業務課	事務所の運営全般、工事の入札・契約	74-3153,3499	
		用地・行政課	用地担当	工事の施工に必要な用地の取得、物件の補償	74-3509
			行政担当	道路・河川・海岸・岩石採取等の許認可	74-3392
		計画調整担当	事業計画立案・調整、関係機関との調整、広報	74-4040	
		維持管理課	維持管理担当	県管理道路(県道・国道350号)の維持管理、除雪、パトロール	74-3391
			災害防除担当	災害防除、災害復旧	74-3516
		道路課	県管理道路(県道・国道350号)の改築、バイパス工事	74-3543,3545	
		河川・砂防課	河川・海岸担当	河川、海岸の施設整備、維持管理、水防、災害復旧	74-3530
			砂防担当	砂防、地すべりの施設整備、維持管理、災害復旧	74-3393
	ダム管理係		大野川ダム、久知川ダム、新保川ダムの施設管理	22-3744	
	建築課	建築基準法に係る建築確認、許可・完了検査	74-3339		
	港湾空港庁舎	業務・空港用地課	事務所の運営全般、港湾の使用許可・管理、佐渡空港の使用許可・施設整備・維持管理、工事の入札・契約	27-3311,3312	
		港湾課	管内4港湾(両津・小木・赤泊・二見)の施設整備、維持管理、災害復旧	27-2215	
漁港課		管内県営7漁港(鷺崎・両津・稲鯨・小木・水津・姫津・白瀬)の施設整備、維持管理、災害復旧、漁場の整備	27-3314		
技術管理課	土木工事検査室	土木工事の検査、工事の労働災害防止対策	74-3146		

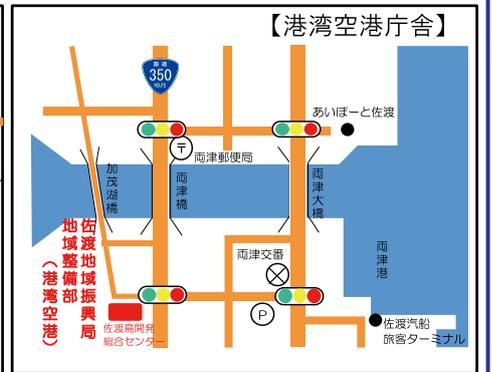
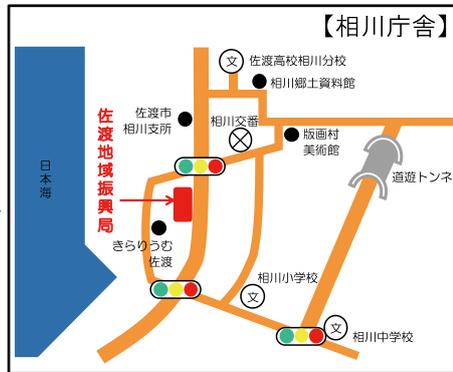
### 事務所のご案内

#### 【相川庁舎】

(道路・河川・海岸・ダム・砂防)  
 佐渡市相川二丁目浜町20-1  
 佐渡地域振興局 3階  
 「きらりうむ佐渡」バス停から徒歩1分

#### 【港湾空港庁舎】

(港湾・漁港・佐渡空港)  
 佐渡市両津湊198  
 佐渡島開発総合センター 2階  
 両津港ターミナルから徒歩3分



令和7年4月発行

この人(?)は  
 誰でしょう?  
 正解は、この  
 冊子の中にあ  
 ります。



佐渡のおもしろ構造物を空中から見よう!  
 右側のQRコードから動画を見ることができるよ!

